

『正法眼蔵』の構成

『嗣書』は『正法眼蔵』のうちの一巻です。ここでは道元禪師が生涯をかけて著した『正法眼蔵』の全体像を紹介します。
『正法眼蔵』は、後世の門人により編集され、その過程によって、60巻本、75巻本など諸種の構成がありますが、現在流布している95巻本（本山版）では、次の構成・巻名となっています。巻番号は、道元禪師が説示した年代順に付されています。
（巻数の（網掛け）は真筆本と伝承されるものが現存する巻）

46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	卷数			
葛藤	菩提薩埵四摂法	古仏心	空華	都機	全機	画餅	道得	夢中説夢	身心学道	光明	栢樹子	阿羅漢	観音	授記	海印三昧	行持下	行持上	慇懃	仏向上事	坐禅箴	大悟	神通	仏教	行仏威儀	仏性	看経	古鏡	後心不可得	心不可得	法華転法華	詞書	仏祖（仏祖宗礼）	山水経	伝衣	袈裟功德	有時	諸悪莫作	谿聲山色	礼拝得髓	洗淨	即心是仏	重雲堂式	一顆明珠	現成公案	摩訶般若波羅蜜	辦道話	卷名			
かつとう	ぼだいさったししょうぼう	こぶっしん	くうげ	つき	ぜんき	がびよう	どうとく	むちゅうせつむ	しんじんがくどう	こうみょう	はくじゆし	あらかん	かんのん	じゆき	かいいんざんまい	ぎようじげ	ぎようじじよう	いんも	ぶつこうじようじ	ざぜんしん	だいご	じんづう	ぶつきよう	ぎようぶついいぎ	ぶっしょう	かんきん	こきよう	ごしんふかとか	しんふかとか	ほっけてんほっけ	ししよ	ぶつそ（ぶつそしゅうれい）	さんすいきよう	でんえ（でんね）	けさくどく	うじ	しよあくまくさ	けいせいさんしよく	らいはいとくずい	せんじよう	そくしんぜぶつ	じゅううんどうしき	いっか（の）みようじゅ	げんじようこうあん	まかはんにやはらみつ	べんどうわ	よみ			
寛元元年7月7日	寛元元年5月5日	寛元元年4月29日	寛元元年3月10日	仁治4年1月6日	仁治3年12月17日	仁治3年11月5日	仁治3年10月5日	仁治3年9月21日	仁治3年9月9日	仁治3年6月2日	仁治3年5月21日	仁治3年5月15日	仁治3年4月26日	仁治3年4月25日	仁治3年4月20日	仁治3年4月5日	（仁治3年4月5日）		仁治3年3月20日	仁治3年3月23日	仁治3年3月18日	寛元2年1月27日	仁治3年1月28日	仁治2年11月16日	仁治2年11月7日	仁治2年10月中旬	仁治2年10月14日	仁治2年9月15日	仁治2年9月9日	仁治2年夏安居	仁治2年夏安居	仁治2年夏安居日	寛元元年9月24日（修訂） 仁治2年3月27日（草案）		仁治2年1月3日	仁治元年10月18日	仁治元年10月1日	仁治元年10月1日	仁治元年10月1日	延応2年8月15日	延応2年4月20日	延応2年4月5日頃	延応元年10月23日	延応元年10月	暦仁2年4月25日	嘉禎4年4月18日	天福元年8月頃	天福元年夏安居	寛喜3年8月	説示年月日
興聖寺	興聖寺？	六波羅蜜寺	興聖寺	興聖寺	六波羅蜜寺側辺波田野義重幕下	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	吉峰寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	吉峰寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	興聖寺	不明	興聖寺	天福元年夏安居	寛喜3年8月	場所			
12443	12443	12443	12443	12443	12442	12442	12442	12442	12442	12442	12442	12442	12442	12442	12442	12442	12442	12442	12442	12442	12444	12441	12441	12441	12441	12441	12441	12441	12441	12441	12443	12441	12440	12440	12440	12440	12440	12440	12440	12439	12439	12439	12438	12433	12433	12431	西曆			

[illegible]